

事務事業名	農林水産振興がんばる地域応援総合整備事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	☐ 見直し余地がある ☒ 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	☐ 見直し余地がある ☒ 妥当である * 余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	☐ 見直し余地がある ☒ 適切である * 余地がある場合⇒		
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	☐ 向上余地がある ☒ 向上余地がない	理由	生産者団体等による自主的な取り組みを支援する事業であり、成果は十分に上がっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	☐ 影響無 ☒ 影響有		理由
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	☐ 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) ☐ 統廃合・連携ができる ☐ 統廃合・連携ができない ☒ 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない		理由
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
D 公平性	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない		理由
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	☐ 見直し余地がある ☒ 公平・公正である		理由
評価の総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり B 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり C 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり D 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		自立できる経営体を育成するために実施されている事業であり、雲南市としても積極的に支援すべき事業である。水耕野菜及び完熟果実の生産拡大や産直販売の急激な伸びなど、着実に成果が出てきている。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	コスト 削減維持増加 向上 維持 低下 成果 維持 低下 削減 維持 増加
地域の重点プロジェクトとして①エコロジー米の生産拡大 ②園芸(水耕、果樹、唐辛子など)の振興 ③産直の販路拡大 ④自立する集落営農組織づくり ⑤奥出雲和牛産地づくりの5本の柱を掲げて取り組みを開始しており、今後も引き続き、島根県と一体となって生産基盤の充実と販路の拡大に向けた取り組みを推進していく。	
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。	